〈レポート〉
シンポジウム ドーナツ・プロジェクト2024
舞台芸術アーカイブの可能性
~劇場の記憶を紡ぐために~

日時:2024年12月5日(木) 18:00~20:30

場所:早稲田大学国際会議場 井深大記念ホール

主催:早稲田大学坪内博士記念演劇博物館

令和6年度 文化庁 大学における文化芸術推進事業





第一部 ドーナツ・プロジェクトを振り返る



[プログラム]

令和6年度 事業成果報告..... p.3

受講生による成果報告...... p.5

◇受講生の発表① (辻村優子)

◇受講生の発表② (石本華江)

座談会..... p.12

令和6年度 事業成果報告

(担当者:演劇博物館 矢内有紗)

◇ドーナツ・プロジェクトとは

やダンス、 らの資料を収集・整理することで、 あります。一方、空洞の周囲を形成する「ドーナツ部 要素ですが、 言いますと、 に例えています。これは演劇を構成する非常に重要な ツ・プロジェクト」として皆さまに親しまれています。 なぜ「ド 令和4年度より採択されている事業です。 今年度 費補助金 年目を迎えており、正式名称を「舞台公演記録 の記憶を呼び覚ま カイブ化のためのモデル形成事業」通称「ドー 舞台公演に関連する資料類を指 舞台芸術公演そのものを「ドー 終われば消えてしまうという点に特性が まず幕が降りた瞬間に消えてしまう演劇 か、 ナツ」という名称を使用しているのかと プロジェクト 大学における文化芸術推進事業」とし という名称が採用され という考えに基づい 記録とし 文化庁の「文化芸術 て残すことが 消えてしまう します。 ナツホール」 これ 0

◇人材育成の目標

チケット、衣装、舞台装

舞台芸術アー 的には、劇団や劇場の制作現場、創作現場で働く方々、 ネジメント人材の育成」を目標に掲げています。 的に活躍できる人材を育てること。 専門的技能を備えたアーキビストとして育成し、将来 を自立的に行うための即戦力を養成すること。 で舞台芸術に関わる担当者を養成し、 各種アーカイブ機関の職員、または文化施設や自治体 私たちは、 て います。 アー このプロジェクトにお カイブに関心を持つ学生などの人材を、 カイブの構築と利活用を担うアー この二点に重点を アー て「舞台芸術 カイ 加えて、 ・ブ活動 具体 トマ

◇今年度の取り組みについて

①連続講座の開催

な知識 コマ) 際には、8月~9月にかけて3日 に持ち帰り、実践することまでを視野に入 〈発展編〉とし、 年度〈基礎編〉 私たちは毎年夏に連続講座を開催 を開催 や技術を学ぶ」というテー 匠しました。 「これまでの学びを、それ 5年度〈実践編〉に続き、6年度は 間の連続講座(全 マを掲げました。 してい でれが現場 ます。 れた実務的

カイ 芸術アー 大学ミュージアム・コモンズの本間友さんには、『ア 基調的な講演を行っていただきました。 憶とは何か~」という、本プロジェクト 俊哉先生には 大學教授であり、デジタル うテーマのもと、 ブサイトから閲覧が可能です これ 〈理論編〉では ブ ガ カイブのマニュアル は昨年度、 イドブック 「舞台芸術ア お二人 「舞台芸術 本プロジェクト こについ の講師を ア ルガイ ハーカイ て解説してい カイ ア 迎えました。 力 ブ学会会長 ブッ イ が作成した、 演劇にとっ ブの基礎」とい クであ また慶應義塾 の根幹を為す ただきまし の吉見 國學院 て記

健さんには「劇場におけるプロセスとしての てご説明いただきました。また劇作家・ ーカイブ」です。 〈実践編〉 プル ブ活動がなされているのかに イブ」という題で、 ブということで、 主宰の松井周さんにプロジェクトに伴う のテーマは、「プロセ 世田谷パブリ 劇場にお 創作場面でア ッ ス いつ いてどのようなア クシアタ ての 力 実例を用)舞台芸術 舞台芸術 イ の滝口 ブ がど

実例を用 ように てご説明 わ どのように活用され いただきました。 て 61 る 0 か

島佑規先生には、 を用 信に関する著作権知識や、 〈技術編〉 この講座 楽業界の著作権ル いてご説明 では、 では、 ケー 13 ブ 「著作権と契約」がテ ただきました。 へにおい ススタディを行 ŋ ル て極めて重要なテ 契約処理に につ また同 13 て って 関す フ 0 事務所 € √ 口 Ź ただきま 健策先 チ 内容は、 公演 の ヤ マ で

動のため では、 また、 ファ て とし 特に ただきました。 実際にア のワ シリテ こて行 力を入っ 生が実践的な学びを深める場として ク う タ の れた 力 \exists には NPO 法人演劇百 ッ をシミュレ アド の ブ活動をどの が です。 自立 ザ ح には三 0 な \exists ワ う ン 好佐 形 貨店をお ク 力 元式で体 シ め、 智子 \exists ブ 何

年度お 動画 年度の で のア よび て この講座が皆様にとって有益なも いることを実感しております 講座受講者は、 前 力 々 イブ受講生が 年度から継続し 会場受講生が 67 て受講され 名となりま 25 の て € √ る 。配 前信 て 方

[DONUTS BOOK] の作成

布され としてお持ち BOOK』 の ョップの様子をまとめたハ)続講座が終了 て閲覧可能 講座後 が集約された冊 の 製作 ₹ 1 を行 ただけるものです。 も復習に使用し、 した後は、 つ 子となっ ます。 講座内容 ンドブック 本書は全受講者に配 て 舞台芸術 0 います 後の活動 **IDONUTS** 0 助 力 it

ただけ

ます

ご覧

えくださ でもド

•

プ

口 の活

ジ ぜ

0

公式

ゥ

工

€ √

これ ナ ツ

まで

皆さまの活

少

ナ

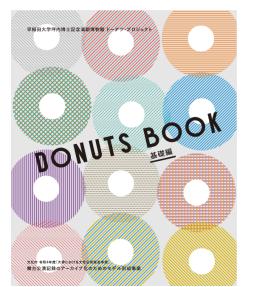
口

ジ

エ

が

ら幸 に \mathcal{O} エクト 動内容や



▲令和 4 年度『DONUTS BOOK』

開

ń ブに 7 ち りつ として 劇場とア め 「舞台芸術 て考える活 イ べ ります。 ン カイ その の開催を通 力 動 にも に イ 環とし ブ つ の て深く 可 り て企画され 考察することを 舞台芸術 で 劇場 ・ます たも 0 0 T 本イ 0 で 力

あ



過年度の実績に サ イ つ 12 V3 て 7 ご覧 は、

▲令和6年度シンポジウムフライヤー

受講生の発表① (辻村優子)

「創作とアーカイブとわたし」

イブしていくかについてお話しさせていただきます。の自分の活動を、実演家の立場からどのようにアーカまだ評価や価値が定まっていない、まさに現在進行形辻村 辻村優子です。俳優をしております。本日は、

優がド です 年間を通じてどのように成長してきたかという物語 てい な思 突然です 、ます。 61 てい ナツ・プロジェクトの連続講座に出会い、 ふと浮かぶことがあります。 これからお話しするのは、そんな一人の俳 が、「売れたい」。 る私は「売りたい」という気持 俳優をしていると、 さらに うも持 フリ こん つ

みほぐしには何か共通点があるのではないかと直感 行っています。 見るだけで体がほぐれる演技、「ほぐしばい を探究し、 るととも しました。 私は舞台作品に幅広く出演する一方で、 ン店に勤めていたことがあり、 かという仮説を立て、 創作にも取り組んできました。 そこから、 観る人の体を緩ませるような演技が可能 私はアル 演技ともみほぐしの共通点を探 バイトでリラクゼー 探究を続けています。 その中で演技とも 具体的には、 自身の興味 」の探究を -ションチ



明しにく

ζ,

ものが多く、

創作中は非常にカオスな状態

に行う試みです。

このように、

私の作品

は

ちょ

っと説

し実践編~

独自の表現で、

揉みほぐしと演技を同時

がら朗読やセリフを聞かせる『ほぐしばい

『サロン乗る場』。

そして、

最新作は

体を揉みな

よみほぐ

次に、一

見た目はまるで

マッサージ屋さんの

パフォ

マンス『パフォ

マン

スもまれ

7

にしたレ

作品は、

演技ともみほぐしの共通点をテー

その過程で生み出した作品

をご紹介します。

見ているだけで体がほぐれる演技「ほぐしばい」を探究中

俳優業とセラピスト業の体感に 共通するものを直感。

それぞれの技術を往還する中で もみほぐしと演技に共通する要素の 言語化と作品化を 繰り返し行っている。

最終的には、触れることなく 客席で見ているだけで 強く身体に働きかけ得る 演技体の実現を目指している。



「ほぐしばい」シリーズ(一部) 「ほぐしばい ~よみほぐし実践編~」 「パフォーマンスもまれ処」 「サロン乗る場」 2022年9月 2023年2月~3月 2024年4月 海県・佐客舎と **福祉-三油開林** SHIPL OF BEING 演技ともみほぐしの 見た目はまるで もみほぐしとセリフを 共通点をもとにした マッサージ屋さんのような 組み合わせた レクチャーパフォーマンス 上演作品 「よみほぐし」

あります。 ジャンプ のか全く分からない状態でした。 そんな中 自分でも何をしているのか分からなくなることが 」と成長できたのかと 自分の活動を記録 そのため、 て学び始 年間でどのように ナツ・ 何をどうア りました。 プロジェ 整理する いうお話です。 「ホ これ ク ップ カイ から -と出会い アア ブ お話 す ステ れば 力 イ 2 ゚ツ ブ思 プ 0 する ア 良 2

へと進化 を試 み、 に 出 2 会 しまし 61 24年度に 2 0 2 3 た。 ح の には利活 年度に 3年 間 用も視 は 0 変化 創 作 に 野 0 に ア つ 入 € √ れカ て た実践 お話

◇受講 て起きた変

驚きました。 S 一容など、 講演 で見 め た € 1 と考え K P か ら け 知 7 61 非常 イ た 13 つ グ 0 の て て た に多 が か b き レ 61 初年度 1 分 ま 5 つ 岐 ショ か L € 1 か ĸ らず た。 た け わ 0 ン で たるも の講義 連続講 模索し ただ、 すが と思 ζý ど 私 の 座でした。 7 で、 の 朩 は € √ いように 利 自 たとこ 処理 そ ム 分 の ~ を 幅広 一に関 講 ろ、 活 b ジ 座 つ をま を作 と多 さ す は S 基 Ν

b が 0 あ ウ 受講後にまず だと知 るわけではなく、 ハ ウじゃな り、 「これ 感 € 1 λ だし た は面白そうだ」と興味を持ち 多角的な視点が の ح は、 61 うこ ァ کے 力 必要な複合 何 イ か ブ つ _ つ 7 の 単 ま 的 正な 解る な

事をまとめ みま ではまだ予算 に 口 そ 集客 Ĺ 0 は で セ 0 批 た。 雑 ス 評を に なメモでも残すことから始め、 は自分が て公開 初 つながったり、 めて自然 (や計画: は基本的に ₹ 1 ただけたり 記録 してみました。 分なり 性 は な 一人で創作を行うため、 なければ消えて , しました。 の 公開したプ ア 行き当たり この カイ ロセ ブ ただ、こ それ り組 作業を始 しま スを含 ば 品みが結果 を基に記 つ ₹ \$ の た ・ます。 時 ŋ め め 点 7 0 7

もさん 役立 ブ た。 シ する は 年、 \exists チ 特に木 の制作 てるか 単に完成 ッ を活用して自分のア 2 度 可能性 プが印象的でした。 目 ノウハウを交えたお話、 ノ 下裕 の受講ではさらに大きな発見が というテー を秘めてい を目指すものでは 一さん が ると気づきま マ これ で話 アア 力 イ らを通 され なく、 ブを構築す 力 そしてジ た講義、 イ - ブを創 じた。 新 じ たな て、 る 坂 作 あ 価 ア ヤ 値 ワ 本 に パ り ン \$ ど ま 力

現在、

私

に

بح

つ

て

ア

力

イ

ブ

は

創

作

の

相

の

ょ

0

と たとえ そ 再構成 ば、 自体 自分 たり の記録写真と参考図 の自己表現 コラ ジ ユ K b 0 書 ょ なる う 0 の に IJ 用 Ź で \vdash す 11 を並 る



2024年度 三度目の受講と実践

創作過程のアーカイブ化を計画を立てて実践

記録写真、映像のイメージをあらかじめ共有して撮影

<利活用も視野に入れた計画的な実践>

▲アーカイブ作業のボリュームが大きくなりつつある

▲予算面でも持続可能な形を考える必要がある

で公開 助成金 b きるようになりました。 力 13 た。 イ う課題にも直面しました。 L 3 できました。 っか ブを進めることが やア 一方で、予算や手間が な予 りと残せるようになりました。 「ほぐ ーテ 作品 算に イ 0 スト ば 組み込むと イ i J んできた メ また、 のト イ ン ジを伝えるた それ におかげ 次第に膨らん 実際の ク レジデン イ でも、 で、 べ ン 創 性が そ ス 人生 め 画的 資料 して、 を行 の 0 でしまうと で初 申 芽生えま 記録 -を会場 請 に う め がで なん ア ځ 写真 7

たも 題で現在は ッ 7 ス フォ € √ を文章でまとめ して 具体的に、 スを付 ます。 で てい € √ るのか ムを使って、 ・ます。 作品ご また、 け 関係者にのみ し ど て て とい € √ のように とに 手書きの資料 ま 記録 うと、 作品ごとに す 映 稽古中のメ ク フ 共有 イ ア 像 ア 例 に イ ベ えば、 つ ン IJ 力 シリー な 1 7 61 卜 ン ど紙 モ ブ 7 で グ 61 note は活 を元に創作 を作 ます は、 ズと べ と b, が 動 目 次と 年 ス € 1 で作 て公開 さら 表 う ユ 処 理 と共に プ イ ブ ラ チ の ン 成 口 に デ L セ ッ

ら、 な時、 B な意味 創作中 間が や壁 な存 まさに 今作 人 note 打 在 を再 でブ です 5 つ に つ ア 7 モヤ の て Ō 文章 からそれ 相手に いる作品 ツブ 発 力 まる 見することもあります。 モヤ ツと話っ Þ ブ , フ で を活用 な ア お らを見返すと、 の輪郭が見えてきたり て つ てくれ すことがあります。 イ 誰か ル を飲 をパ て とお茶し t たりします。 ス ラパ 友達 ライド ラと見返し の 今、 たく よう を 0 持 その なる さらに、 ネタ出 つ社会 の 成 発表 うち なが よう 7

no+e G 4 D REGISTED DRS d b van 8-A 84 XXX-5V7 V550 XX AB 世村位于 「後ぐしばい〜よかほぐし会議第〜」 のつくりかき (編集報告) その2 1040-10400-BACH-**3** aner 1086 🐌 anne rorm

▲プロセスの公開。稽古のメモ を基にプロセスを言語化して集 約・公開。

えば、

稽古中の

メモを整理して保存するために、

そのものが、クリエイティ

カイブってクリエ

イ

ティ

ブだ」と私は感じて

アー

カイ

ブを構築するための試行錯誤

ブな作業だと思います。

▲2010 年以降参加した作品の紙資料

▲アナログ資料のアーカイブ。創作 資料やチラシ、企画書ファイリング 資料などを作品ごとに目次をつけて 時系列にファイリング。 える形 と感じています。 になり得ることは、 実感することができました。 ろう」と感じている自分に対して、 ます。現在、 次の出演予定がなく アア

で記録を作成したことで、

「あれ、

私は何をしてい

るんだ

個人のアーカイブの大切な機能だ

このように精神的な支え

俳優としての活動を

このように目に見

としてただオファーを待つ受け身の状態から、 とで、自分が何を発信するのかに自覚的になり、 いを抱えていた私ですが 話を最初に戻すと、「売れたい」と ア

ーカイブ活動を始めるこ

いう漠然とし

た思

◇俳優活動とア ーカイブ

冗談ではない きに、「アーカイブで自分を抱きしめる」 自己を見失いそうになることがあります。 す。その時、「自分は何をしているんだろう」と思い、 話が少し変わりますが、 ときに アル んです。 バ イトに明け暮れることが多い 俳優という職業は、 そうしたと 仕事が ので

◇今後

の期待

ように影響を与えるのかを考えるようになり、

作品の質にも大きな影響を与えています。

他の人にとってどのような意味を持ち、

社会的にどの

た作業を経て、個人的な興味から出発したアイデアが

観客に届く言葉を考える時間となってい

作業を通じて、プ

ロセスの言語化、

語り直し、

この 公開

・ます。

こうし そして も視野に入れて note を利用しているのですが、

そして先日、 プガ ッ ・ プロジェクトが提供してい で5箱分の資料を、 自分が出演 の実践に向けたポ してきた作品 目録化 る L 『ファースト てみました。 やガ の台本を整理 ブ ッスド

> 作成しました。その結果、研修所を卒業してから約70 作品に参加したことが分かりました。 の識別子サンプルを参考にし、 Excel で目録を

をしようかと自分一人でも考えられる環境を整える

次に何

結果

ことができました。

話が少し飛躍するかもしれませんが、俳優自身がこまが少し飛躍するかもしれませんが、俳優にはそっして創作のプロセスを言語化し、集約し、アーカイうして創作のプロセスを言語化し、集約し、アーカイラして創作のプロセスを言語化し、集約し、アーカイ

得られた横のつながり、また演劇博物館の主催であって都市の中に残されたお墓も一つのアーカイブである」という言葉は、今年度の吉見先生の講座で非常ある」という言葉は、今年度の吉見先生の講座で非常ある」という言葉は、今年度の吉見先生の講座で非常ある」という言葉は、今年度の吉見先生の講座で非常ある」という言葉は、今年度の吉見先生の講座で非常ある」という言葉は、今年度の吉見先生の講座で非常ある」という言葉は、今年度の吉見先生の講座で非常

アーカイブについて学ぶことができました。たからこそ、演劇史の中で自分の位置を意識しながら得られた横のつながり、また演劇博物館の主催であっ舞台芸術アーカイブというテーマだったからこそ

サンキュー♡ ドーナツ・プロジェクト!

< 立ち返る場所としてのアーカイブ>

「都市の中に残されたお墓もアーカイブである。」

次々と新たなものが生まれ、景色が塗り替えられていく一方、

その速度に巻き込まれ、目的と手段が入れ替わってしまわないように 創作する自分の柱としてアーカイブを残していく。

創作・制作などすでに分業化されている職能についてでなく 「<u>舞台芸術アーカイブ」</u>というテーマだったからこそ出会えた 横のつながりがあった。

演劇博物館が開催していることで 「演劇史の中の自分」という縦のつながりも意識できた

す。ぜひご注目いただけますと幸いです。
ーカイブガイドブック』実践・普及プロジェクト」でトルは「『舞台芸術アーカイブに携わる人のためのアトルは「『舞台芸術アーカイブに携わる人のためのアトルは「『舞台芸術アーカイブに携わる人のためのアーカイブガイドブック』実践・普及プロジェクト」で



辻村優子(つじむら・ゆうこ)

受講生の発表② (石本華江)

の芸術を扱う研究所としての道を歩むようになりま 998年からアーカイブとして公開され、これによっ 998年に設立され、アート・センターで初めてのア その中でも私が担当している土方巽アーカイヴは1 究センターで、様々なコレクションを所蔵しています。 て少し触れさせていただきます。慶應義塾大学ア 石本 てアー ト・センターは1993年に開設された大学付属の研 カイブとなりました。土方が所有していた資料が1 まずは、慶應義塾大学アー ト・センターの方向性が明確になり、 ト・センタ 戦後日本 つ

また、アート・センターでは「ジェネティック・アー な方々に利用されています。 在も舞踏情報センターのような役割を担い、さまざま カイブ」というモデルを提案しています。 が訪れており、非常に活発に活動が行われています。 舞踏のアーカイブとしては先駆的な事例となり、 実際に、毎日多くの方々 現



土方巽アーカイヴ【寄贈・寄託および預託】

に寄託され、公開されている。 七男聖香料は、写真:11.052件、 声: 364件、舞踏譜: スクラップブック16バインダー およびスクリプト・シート255組(1,300枚)、原稿 15バインダー、書簡:2,050件、エフェメラ:329件、 衣裳:4件、舞台美術:20件、雑誌:836件、書籍 1,119件、新聞(記事のみ登録): 296件、総計: 16,326件(単位が系列ごとに異なるが全てを1件として 数えた。

として20

資料の静態的分類・整理作業にとどまらず、 芸術における想像プロセス解明を目指す

Creative Use of Archival Materials 新たな創造を生むアーカイヴに 創造のプロセスを探ること ・創造のインスピレーションになること

▲ジェネティック・アーカイブ:資料の 静態的分類・整理作業にとどまらず、 術における創造プロセス解明を目指す。

ので、 らっしゃるデジタルアーカイブ学会などで学びなが 直に「やばい」と思いました。それで、吉見先生もい 私がいきなり土方巽アーカイブという、 ていただきました。 れは受講しなければならないと感じ、 を持つアーカイブの担当者になってしまった時は、正 師匠が土方巽にあたるため、いわば孫弟子のようなも おりました。私の師匠は和栗由紀夫という方で、 私はダンサー 演劇博物館でこうした講座があることを知り、 直系の弟子にあたるわけです。 19年ごろまで活動 しかし、 3年間受講させ 20 年の歴史 そんな その

◇講座を振り返る

した。 が私の印象です。 かに利活用・収益化するかに注力されていたと コロナの影響が非常に実感として感じられる時期 まず2022年度についてですが、この時期はまだ その中で、講師の先生方が過去の映像作品をい いうの で

答しました。 どうして収益化を図ってはいけない ジネスという方向に強い違和を感じました。 最初、私はアーカイブ機関の人間として収益化やビ のか?と自問自 しかし、

場所がない、お金がない」―ほとんどの人が「お金が えば「お金がない」のです。そのような状況で、 を考え続けています。 収益化を図れないのかと自問しました。 ない」と言います。 が三つの困りごとを抱えているのです。「人がいない、 実は、アーカイブに関わる方々と話すと、大体の方 私たちの団体も同様で、正直に言 今もそのこと なぜ

他にも契約処理や保存方法、 整理 管理方法など、

使 が 力 れ 提出 つ イ が 考 7 ブ 0 ح L 像 え 時 13 ます た課題 を言語 \mathcal{O} る 0 課 舞 朩 台芸 題 化 に 0 Δ 取 術 内容 す ワ Ź ŋ T 組 です ح ク لح む 力 で出 こと が が イ ブ できま され で の もこれ あ た課題 自 ŋ た。 方 分 を様 が が、 に 目 指 々 記 つ な場 そ す が 6 1 T て n ぞ で で

DONUTS PROJECT

れ が なました。 識 視点、 た。 で が ル 非常 他 す 分 ア 0 力 0 ź 2 1 そし に 3 ブ 力 ノか 勉強に 機関 関 で 年度 7 1 でも て岡室先生や演博 は 61 と ブ ら の見学 る な な 室 は コ なり 同 の ŋ € 1 0 言 じ で、 ŧ \sqsubseteq ッ ن ځ よう と まし は、 語 ア た。 孤 化 61 な状況が 独に た。 認 現場を見る の う考え方 にも参加 土方ア できるこ 重 感じ また、 0 使わ が る あ を Þ させ ح ح لح ことだけ ること n 力 の とも の る イ め て 言 ブ 大切さを再 年 7 i V あ にはデジ 葉 では 実 ナ た でなく、 ŋ 0 だき まさ ます 私 選 ح び 61

お名前: 【石本 華江】

・工夫したこと

どんなテーマで作ったか

視点を提示したかった。

【課題の回答をこちらに記入してください。】

できなかったと感じること・その理由

活 0 この لح つ で つ た 価 に 力 7 し b や選 刺 年 て て イ お 可 0 は、 いを受け 考えさ 能性 が 別 話 ح が の難 制 力 L 実は があ 作 L ブ せ る て に られ る フ さ 利用者 _ 不 ア 方、 と気 ださ b 感じま まし ン 切 づき、 Þ 個 記録 0 6 1 0 か 立 た。 研 ま 23 と 究者 んでア L L た。 13 ジ に う点も なる ヤ 7 に 実演家 度の と 自 パ て 力 ン イ に つ 分 課題 改 لح まう 辻 サ て が ブ の め 重 不 化 方 村 で 霊要な資 要だ て 危 チ す さ 々 を活 険 る λ が ح 0

①どんな舞台芸術アーカイブをつくりたいか (すでに取り組んでいる場合) どんな舞台芸術アーカイブにしていきたいか ①の舞台芸術アーカイブを実現するためにできる実践/方法、乗り越える課題 ジェネティック・アーカイヴ→Creative Use of Archival Materials 創造のプロセスを探ること ・創造のインスピレーションになること 記憶の記録から土方巽に出会う「場」へ Archives for Creation Open Research Collaboration 資料体を中心とする研究主題の研究拠 点としての役割を担い、研究者への国 機関を越えた支援を行うアーカイヴ 価値の創造と維持 Butoh Research Hub / Butoh Information Center 舞踏コミュニティを形成しネットワークを作り出すプラットフォーム/愛好家・研究者・実演家が集うセンターのような機能 氏名:石本華江(土方巽アーカイヴ) DONUTS PROJECT

▲2022 年度ワークショップ課題

に り 0 0 つ ス と で 取 グ を は € 1 ち り て ル 残すこと 13 た。 戻るこ 組む や哲学 再 か ょ ||考す 年 プ ح を 中 り ワ との 感じ や、 考えさ 0 る の で 赤 き に ク 土方巽 デ 対 重 T つ つ する こと か せ 要さを実感 で ます ス タ ら けになり 50 の赤ド ħ は 責任を改 0) 百年後 年 改 ツ 大切 ま 後 ح L め レ に残 まし の 7 ル さ ス め やデ ま ょ を です $\widehat{1}$ b た。 う て感 ア に 9 さ ま タ 0 力 6 た、 な る 0 そ 13 8 時 うテ 危 の け L ブ 年 れ 間 今 う プ さ 0 力 ÷ 车 Ź 肉 ば と 口 0 イ

マ度

にセ

セ す ジ め る で 61 <u>ح</u> ح ず す よう 思 な は < ح \exists れ 0 が 必 T ジ ン n わ 0 61 は、 ます を 読 と り ら、 が か 含ま ょ が € √ で 力 となる 励 لح 今 あ 求 間 て か 61 みに ŋ の カ 8 61 0 ح b られ うところ 学び 7 け 力 なり わ 11 合 61 け つ ガ ま ま こをどう が た具体 ます。 ず。 で イド す 終 力 ま ブ を参考に 0 は 1 で ッ わ あ ح ク ょ つ ゃ りませ 的 舞 毎 う ッ つ の な 台芸術 す なが か H ら ク て ح 指 12 n 0 5 に を を 61 ん。 針 ら進 業務 ば 頼 と言 6 1 つま ~ り ょ つ に携わる人 ŋ てこ 自 む に € 1 に つ ジと で保存・ 重 ح 向 れ 分に コラボ 0 て 要な どこ とも]き合 で か か 81 問 が ら す どう 保管 0 分 に 多 X ~ つ 13 レ た か ッ か 7 13

◇今後の展望

て 最 61 後 ただきます に 倫 理 0 に ح 関 れ す Ź は あ ح る と 意 に 味 0 61 ح 7 の 小 場 L を お 借 話 ŋ L た決 さ せ

▲2023 年度ワークショップ課題

「土方巽と芸術家」

土方と関わりのあった芸術家、そのつながりを示すことで多角的な

「ジャパンサーチ」内の情報では限定的であろうと予想していた

*使う側の立場から一素敵な写真が簡単に沢山手に入ることの利便

*提供する側の立場から一管理していることの有益性(1真正性を

担保した資料を提供できる 2管理することによって生まれるコミ

▶クリエイティブコモンズの利点を理解しながらも、使用する側の

レテラシーの低さに不安感を拭えない+著作権者への説得も難しい

??どうすれば、使用者・提供者間の信頼関係を作れるのか??

性や視覚的効果が、研究活動や興味そのものを誘発・活発化する。

が、予想以上にビジュアル面で寂しいものになった。

ュニケーション=受容者にも有益 3自らの権威づけ)

う自覚を持つことが重要だと思っています。 は必要、これは不要」と評価をしながら、それが本当 は必要、これは不要」と評価をしながら、それが本当 に正しいのかと迷い続けています。その迷いを持ち続 に正しいのかと迷い続けていますが、私自身も日々「これ がいます。と評価をしながら、それが本当 に正しいのかと迷い続けていますが、特に私がアーカ

に大切だと感じています。
造に常に自覚的でいること、自己点検することが非常う構造にも気をつけなければなりません。そうした構そのことが自分に対する権威づけになっているといいう気持ちから厳格にしてしまうこともありますが、

3年間学んだからといって、すぐに「もう大丈夫で3年間学んだからといって、すぐに「もう大丈夫でカイブを非常に辛く感じています。辛くて苦しいでしかイブを非常に辛く感じています。辛くて苦しいでけながら新たな知識を得ることはとても大切だと思けながら新たな知識を得ることはとても大切だと思けながら新たな知識を得ることはとても大切だと思かイブを残していけるように努力していきたいと思カイブを残していけるように努力していきたいと思っています。

します。 と感じています。今後ともどうぞよろしくお願いいたと感じています。今後ともどうぞよろしくお願いいた。



石本華江(いしもと・かえ)

当。 当。 当。 当。 当。 当。 当。 当。 一) は慶應義塾大学アート・センター土方**巽**アーカイヴ担は慶應義塾大学アート・センター土方**巽**アーカイヴ担は慶應義塾大学アート・センター土方**巽**アーカイヴ担は慶應義塾大学アート・センター土方**巽**アーカイヴ担は慶應義塾大学アート・センター土方**巽**アーカイヴ担当。

座談会

▼参加者

プロジェクト立ち上げメンバー)岡室美奈子(早稲田大学演劇博物館前館長、ドーナツ・

辻村優子

石本華江

矢内有紗 (演劇博物館)

岡室 今、非常に良います。 問受講していただいたわけですが、「もっとこうだっ間受講していただいたわけですが、「もっとこうだっ舞台芸術専門のアーカイブに関する連続講座を3年

辻村 3年間を振り返ると、「物のアーカイブについ**辻村** 3年間を振り返ると、「物のアーカイブについてなりがちで、そういったように思います。デジタルアーカイブについていったように思います。デジタルアーカイブについなりがあると、「物のアーカイブについ



す。

【のでは、では、では、では、では、では、では、では、できるので、その前でうかつなことは言えませいらっしゃるので、その前でうかつなことは言えませす。今日はデジタルアーカイブは実際には意味合いが異なりまデジタルアーカイブはもちろんデジタル資料だけでなのを、 アーカイブはもちろんデジタル資料だけでな

のは、この場の継続性についてです。これは演博さんたので、ありがたく思っています。ただ、一点感じた石本 講座に関しては、非常に充実した勉強の場でし

今後も非常に重要だと感じています。うのですが、こうして集まる場を継続していくことがだけの責任ではなく、私自身を含む全員の責任だと思



岡室 確かに、アーカイブに関わる人々は孤独を感じ 岡室 確かに、アーカイブに関わる人々の横の繋がりを作ることが多いです。たとえ組織に属していても、アーく、そのため孤独な側面が強いです。そのため、アーちのドーナツ・プロジェクトの一つの大きな目的でしたが、あまり頻繁に実施できなかったため、アーとたが、あまり頻繁に実施できなかったため、アーとがが、あまり頻繁に実施できなかったがあるとが多いです。たら、そのため、アーシーとがある人々は孤独を感じたが、あまり頻繁に実施できなかったが、私たりにが、あまり頻繁に実施できなかったが、私たりに対しています。

か? 3年目は彼女がほとんど進行してくれました。 それでは、矢内さん、何かコメントはございます

きます。 活発になっていくことを願っています。 極的に行っています。受講生として、また現在は運営 キャニングや、VHSのDVDへの変換などを最近積 化しておけば劣化を完全には防げないものの、別の形 といった責任感もあります。そうした時に、デジタル 抵抗を感じます。今、私が捨ててしまっても良いのか ました。私は 30 年以上の歴史をもつ劇団に参加 たく異なる文脈を持つものであることを改めて感じ ように、物のアーカイブとデジタルアーカイブはまっ の立場として日々学び続けており、この議論がさらに で未来に残す可能性があることに気づき、チラシのス いますが、 せていただきましたが、先ほど辻村さんが述べられた 私も1年目は連続講座の受講生として参加さ しかし、 そうした劇団では物がどんどん劣化してい その物自体を捨てることには非常に して

さまざまな形でドーナツ・プロジェクトに関わって梁山泊の若手公演で主役を務めた経験もあります。の大学院生であり、女優としても活動しており、新宿の大学院生であり、女優としても活動しており、新宿の女 ありがとうございます。矢内さんは早稲田大学

ます。ありがとうございました。
さまざまな形でドーナツ・プロジェクトに関わってさまざまな形でドーナツ・プロジェクトに関わってさまざまな形でドーナツ・プロジェクトに関わってさまざまな形でドーナツ・プロジェクトに関わってさまざまな形でドーナツ・プロジェクトに関わってさまざまな形でドーナツ・プロジェクトに関わって



第二部 トークセッション 舞台芸術アーカイブの可能性~劇場の記憶を紡ぐために~



登壇者

[スピーカー]

平田オリザ(劇作家・演出家、芸術文化観光専門職大学学長)

外波山文明 (劇団椿組座長・役者)

宮澤一彦 (株式会社俳優座劇場・劇場部)

[コメンテーター]

吉見俊哉 (國學院大學教授)

梅山いつき (近畿大学教授)

[司会]

岡室美奈子(早稲田大学文学学術院教授・演劇博物館前館長)



己資金で劇場を建てました。たのだと思います。駒場の土地 40 坪を担保にし、自演劇をやっていたこともあり、劇場を持つのが夢だっ場です。父は売れないシナリオライターで、若い頃に事田 アゴラ劇場は1983年に私の父が建てた劇

え、大変な経済状況に陥りました。ました。その結果、建設費用がさらに二千万円ほど増劇場だ」と指摘され、劇場として申請することになりらしいのですが、消防署から「これは稽古場ではなくただ、当初は稽古場として申請しようと考えていた

本来どのような場所なのだろう」と考えるようになり 恩恵もあり、家庭教師の収入で少しずつ返済を進めま とんどはこの返済に追われていましたが、バブル期の 劇場の借金を返済する日々が続きました。 20 代のほ で、こんなに親孝行な小劇場の人間はいないなと(笑)。 なりました。今私は劇作家と大学の教員もしているの 大変なことになっていたため、私が劇場を継ぐことに 母は学者にしたいとそれぞれ考えていましたが、 は1986年に大学を卒業しました。父は私を作家に、 ていました。劇場は1984年にようやく開業し、私 いうシステムに疑問を感じるようになり、「劇場とは した。そして、 その後、劇作家や大学教員としての仕事をしながら、 当時、私は大学生で1年間韓国に自己資金で留学し 23 年間劇場を運営する中で、貸劇場と 家が

い、その公演を紹介するフェスティバルを企画しましいたため、2か月ほどの期間に集中して利用してもらだったものの、一度にサポートできる人数が限られて地方の劇団が多く利用していました。劇団は滞在可能一つ目は、アゴラ劇場には稽古場が併設されており、

た。

後に劇作家協会の設立にも役立ちました。 また、劇場には膨大な量の公演案内が届くため、こまた、劇場には膨大な量の公演案内が届くため、このデータでコンピュータを導入し、名簿ソフトを用いて全国の劇団のデータをを導入し、名簿ソフトを用いて全国の劇団のデータを表表した。アゴラルを無駄にせず活用できないかと考えました。アゴラれを無駄にせず活用できないかと考えました。アゴラルを無駄には膨大な量の公演案内が届くため、こまた、劇場には膨大な量の公演案内が届くため、こまた、劇場には膨大な量の公演案内が届くため、こ

という考えが芽生えました。これらの取り組みを通じて、「劇場の公共性」によりチラシ印刷も可能となり、劇場の利便性を高めを作成できるよう、高速輪転機を導入しました。これがけでなく、劇団が当日パンフレットやアンケート

格的に導入しました。 を支払えば全演目を観られる「支援会員制度」を本年間プログラムを策定し、それに基づいて会員が年間運営であることを確認しました。そして、芸術監督がと思われた取り組みが、ヨーロッパでは標準的な劇場とヨーロッパの劇場で仕事をする中で、日本では特別らヨーロッパの劇場で仕事をする中で、日本では特別らヨーロッパの劇場で仕事をする中で、日本では特別

にも力を入れ始めました。
00年前後から青年団の演出部を中心に若手の育成と並行して人材育成も劇場の責務であると捉え、20と並行して人材育成も劇場の責務であると捉え、20と並行して人材育成も劇場の責務であると捉え、名れるれを大事にすることが一番の仕事です。また、それ場は、人類の遺産となるようなレパートリーを創出し、場は、人類の遺産となるようなレパートリーを創出し、場は、人類の遺産となるようなといい。

11



外観

大変示唆に富んだお話でした。

では続いて宮澤

見直し、「劇場とは何か」を改めて問い直す必要があり

東京で劇場を続けるには、

大きな課題があると

感じています。

作家や優れたアーティストを輩出しても、それが支援

の評価対象とはならないのです。この構造的な問題を

仕組みにはなっていません。たとえ劇場が岸田戯曲賞

く公演助成に焦点を当てているため、借金を返済する

▲こまばアゴラ劇場 岡室 さんお願いいたします。

宮澤 彦

にどの芸術が役に立つのかは誰にも分かりません。 側にいる被災者や難民のために作品を作っていると ギリシャ悲劇に触れ、人間について考えています。つ ンフラ整備のように需要予測を立てられないため、 ただ、文化政策として考えると、百年後や二百年後 アーティストは極端に言えば、未来の地球の裏 全 イ 宮澤 れていた演劇人ですし、外波山文明さんの花園神社で は高校生の頃に駒場アゴラ劇場でお芝居を拝見し、憧 くことを大変光栄に思っております。平田オリザさん 申します。 俳優座劇場の制作を担当しております宮澤と 本日はこのような場でお話しさせていただ

まり、

年前に作られた音楽や絵画、さらには2500年前の

癒せばよいのでしょうか。

作らなければ、

粛するような状況がありましたが、私たちが今作品を 関東地方では2011年3・4月ころ、創作活動を自 ラシック音楽が最も心を慰めたとも言われています。

百年後や二百年後の被災者は何で心を

私たちは今、百年前、二百

慰問に訪れました。

例えば、

東日本大震災の際、多くのアーティストが

AKB48 や EXILE といったアーテ

ィストが喜ばれる一方で、長年歌い継がれた唱歌やク

言っても過言ではないのです。

てを残していく必要があるのです。

の公演には深く感銘を受けました。どうぞよろしくお

いいたします。

本ではその認識が欠けています。 ブが弱いのです。 が増えていますが、 出てきます。 そのために戦ってきたのですが、東京で民間の小劇 彐 ートリーを残すことは責務であるべきですが、日弱いのです。公共劇場が人類の遺産となるような どんな資料も揃っていて、必要なものがすぐに ロッパの劇場で働くと、その蓄積の深さに驚き 日本ではドラマターグに興味を持つ若者 創作の助言の根拠となるアーカイ

ませんが、そうでもない限り民間小劇場の持続は難し 持つオーナーが他に収入を得ていれば可能かもしれ 場を運営することは非常に困難です。無借金で資産を また、 日本の文化政策は劇場そのものではな

> その 優座劇場です。 報酬の7割を劇場建設費に充てました。しかし、それ だったため、劇団の役者たちは1年間活動を休止し、 優座劇場が建設されました。当時、 ただきながら資金を調達し、ようやく完成したのが俳 でも資金が足りず、地元の商店から株式を購入してい にご説明します。 まず、俳優座劇場と劇団俳優座の関係について簡単 10年後の1954年に劇団の記念事業として俳 劇団俳優座は1944年に設立され、 映画が娯楽の主流

建設に際して、 劇団内の舞台美術部を分割 大道

劇場」が設立され、 具製作と劇場運営をそれぞれ別会社としました。 劇団俳優座から独立した形で「株式会社俳優座 現在も運営を続けています。

担当しております。 私はそのプロデュース公演の制作・プロデューサー り続いている俳優座劇場の重要な取り組みです。 新しい個性を持たせるべく、プロデュース公演をスタ 0年に建て替えられました。 -ス公演と同い年になりますが、以来 44 年間にわた トしました。私自身1980年生まれで、プロデュ 劇場は1954年の開場から老朽化を経て、198 その際、新しい劇場には 現在、

では建て替えが必要だと長年検討してきました。 られる状況です。例えば楽屋の天井から水漏れがした 老朽化があります。 の建替えから 44 年が経過しており、各所に劣化が見 くお話しできない部分もありますが、主な理由として 35年と言われていますが、俳優座劇場は1980年 俳優座劇場の閉館に至る経緯については、まだ詳 小動物が駆け回ったりすることもあり、このまま 劇場の耐久年数は一般的に 25~

ど、大道具の需要が低下して収入が厳しくなっていま 作品で大道具が使われる機会が減少し、音楽コンサー で支えられてきました。しかし、近年では映画や映像 公演のチケット代、そして全国の演劇鑑賞会の上演料 トでもプロジェクションマッピングが主流となるな 経営については、舞台美術部の収益、プロデュース

2025年4月20日をもって閉館する運びとなりま が重なり、苦渋の決断ではありますが、俳優座劇場は 少し生きながらえたのかもしれません。 なものを盛り込んでいただければ、もしかしたらもう も、例えば固定資産税や都市計画税の減税措置みたい 教法人など同じように民間の劇場運営団体に対して 減税措置といった支援もありませんでした。やはり宗 さらに、民間劇場への運営助成は全くなく、 これらの要因 免税や

けていただければと思います。 皆様の記憶に留めていただければ幸いです。ぜひ多く 定です。六本木の中心に俳優座劇場が存在したことを アの『テンペスト』を新翻訳・新演出でお届けする予 が折り込まれています。2025年1月には音楽劇 の方にご来場いただき、俳優座劇場の最後の姿を見届 『わが町』を、 お手元の資料には「さよなら俳優座劇場」のチラシ そして最後の公演としてシェイクスピ





▲俳優座劇場 客席/舞台

岡室 名作の舞台ですとか、 いいたします。 た場所だと思います。では続きまして外波山さんお願 俳優座劇場といえば、新劇の劇場として数々の 多くの名誉ある方々を生み出し



劇 を 39 外波山 かけになればと思っています。 がら、劇場のあり方や助成の問題について考えるきっ の劇場で野外劇を続けてきた理由を少しお話ししな 了しました。サンキューでございます。 年間続け、あと1年で 40 年というところで終 椿組の外波山と申します。花園神社での野外 今日は、 仮設

場になるんだ、と。赤絨毯を敷いた劇場に観客を「お 場になるという考え方に基づいています。どこでも劇 ぶのではなく、自分たちが出向いていけば、そこが劇 た。このような活動を始めた理由は、劇場に観客を呼 招き」するのではなく、 を旅しながら街頭で芝居をし、投げ銭で食事を賄い、 トラックで寝泊まりしながら2ヶ月間旅を続けまし を立ち上げました。これは路上劇を行う劇団で、東北 私たちは1971年に「はみ出し劇場」という劇団 自分たちがその場所に行って

という思いが原点でした。芝居をすることで、その場を自分たちの劇場にしよう

残したいという思いで野外劇を続けてきました。 「俺たちの遊び場は俺たちが作る」という言葉は、 「俺たちの遊び場」を自分たちの手で作るという思いから始まりました。何もない土地に鉄骨を立て、客席を作り、舞台に照明や音響を仕地に鉄骨を立て、客席を作り、舞台に照明や音響を仕地に鉄骨を立て、客席を作り、舞台に照明や音響を仕地に鉄骨を立て、客席を作り、 毎に刻んでいるものです。 「俺たちの遊び場は俺たちが作る」という言葉は、「俺たちの遊び場は俺たちが作る」という言葉は、

僕たちは土の上で芝居をやりたいという思いがあります。 最後にテントを開けて大団円を迎える形式を取家屋の間取りにドラマを求め、梁山泊さんも舞台を組みます。 唐さんの場合は「四畳半芝居」のように狭い日本す。 唐さんの場合は「四畳半芝居」のように狭い日本ので、最後にテントを開けて大団円を迎える形式を取んで、最後にテントを開けて大団円を迎える形式を取んで、最後にテントを開けて大団円を迎える形式を取んで、最後にテントを開けて大団円を迎える形式を取ります。

のです。

「方で、僕たちは「どこでも劇場を作ることができた飲な工夫があれば、どこでも劇場を作ることができため、あると、1971年の野外劇場を東京都から借外の頭公園や上野不忍池の野外劇場を東京都から借れの頭公園や上野不忍池の野外劇場を東京都から借れなわかっていました。また、1969年には新宿体育りて芝居をしました。また、1969年には新宿体育りて芝居をしました。また、1969年には新宿体育りて芝居をしました。また、1969年は新宿体育りで、関公園や上野不忍池の野外劇場を東京都から借えのもと、1971年の野外劇場である」という考



▲椿組花園神社野外劇場



平断しました。

や関神社でのテント公演を今回辞めた理由はいく
を関神社でのテント公演を今回辞めた理由はいく
を関います。まず、私自身が77歳となり、体力が衰った。39年間支えてくれたスタッフたちも高齢化が進み、
に39年間支えてくれたスタッフたちも高齢化が進み、
に39年間支えで、私自身が77歳となり、体力が衰った。
は30年の数年の異常な暑さも大きな要因です。7年から、この数年の異常な暑さも大きな要因です。7年から、
は30年のが厳しい」という声が増えてきました。

規制されているため、テント公演にも厳しい規則が適 あるというのが現状です。 指摘された場合、 保険はかけていますが、もし事故が起きて法令違反と 規定を完全に守るのは現実的に不可能です。もちろん、 4階建てに相当する高さになることもあり、 から規制が厳しくなりました。私たちのテントは3~ とハーネスの着用などが義務化され、 トル以上確保することや、高所作業の際のヘルメット 用されます。 な千人規模の劇場と五十 さらに、劇場法の問題もあります。 例えば、客席間の通路は80 経済的にも対応しきれない 人規模の劇場が同じ基準で 特に 帝国劇場のよう セ 4年ほど前 こうした リスクが ンチ メ

りました。題が重なり、今回 39 年をもって幕を閉じることとな題が重なり、今回 39 年をもって幕を閉じることとなすがに老朽化して劣化してしまうなど、さまざまな問また、テントシートが 40 年も使われていると、さまた、テントシートが 40 年も使われていると、さ

思います。
思います。
これからのお話をお聞きいただければとったと考えています。テントの事情も理解していただったと考えています。テントの事情も理解していただったと考えています。そのため、花園神社でのテント公演を終了することも、今回の劇場問題の一因であト公演を終了することも、今回の劇場問題の一因であいたうえで、これからのお話をお聞きいただければとしては、どこであろうと、私たしかし、私の思いとしては、どこであろうと、私た

岡室 外波山さん、ありがとうございました。「俺たち 関連、外波山さん、ありがとうございました。「俺たちが作る」という言葉が非常に印象的 の遊び場を俺たちが作る」という言葉が非常に印象的 の遊び場をでした。お三方からお話をいただき、各劇場の歴史や でした。お三方からお話をいただき、各劇場の歴史や でした。お三方からお話をいただき、各劇場の歴史や でした。お三方からお話をいただき、各劇場の歴史や

◇劇場のアーカイブの現状

ので、 料をどう残していくかについて、簡単にお考えをお聞 切りを迎えるわけですね。 せください。 ·迎えるわけですね。では、その記憶や記録、資それ自体が終わるのではなく、劇場として一区お三方とも今後も演劇活動は続けていかれる お三方とも今後も演劇活動は続けて 61 かれ

来に伝えていくかも重要な問題です。 ですね。テントを建てる過程が記録されており、 動画を紹介します。 ログ作業が 3D 一つのアーカイブだとして、この映像をどのように未ログ作業が I 映像として再現されています。それが その前に、 します。こちらの映像も立派なアーカイブ外波山さんの椿組が制作した素晴らしい アナ





となるでしょう。

岡室

▲【動画】「椿咲く花園の夜」完全版

ながら、お三方に今後の資料保存についてお考えを伺 写真はどう公開されるのでしょうか。その点にも触れ 作られたもので、参加者は持っていますが、その他の す。この写真集は劇場閉館時にツアーの参加 いたいと思います。 また、こまばアゴラ劇場も写真集を制作されていま では、平田さんからお願いします。 番向けに

> 劇場[*3]もありますので、そちらに資料を移管しまし アゴラ劇場は閉館しましたが、豊岡の江原河畔

平田

なっていますので、 料もほぼ全て残っており、 の時代に合わせて行ってきたと考えています。 小劇場の中では早期にPCを導入し、アーカイ 私個人の資料は、城崎文芸館に寄贈されることに 特に心配はありません。 今後は公的な資金面が課題 私たちは 映像資 ブもそ

こまばアゴラ劇場に関連する資料は公開

され

る予定はないのでしょうか?

平田 には対応しています。 も多く、修論や博論のために私に資料を求める研究者 公開はしていませんが、 海外からの問い合わせ

岡室 一般公開の予定はない ということです

れば、田 アゴラ劇場を閉館していないと四公開するには費用がかかります。 と思い その予算があ ・ます。

おり、 者や新劇ファンに届けました。 宮澤 5年前の65周年の際、ポスター資料集としてデジタ に貸館として運営しており、 です。紙ベースの記念冊子のようなものも作り、 ル化しました。また新劇の劇場なので、 っています。 っています。 やチラシ、パンフレット 物理的には家一軒程度という、かなりの量です。 俳優座劇場は今年で開場 ス公演や主催公演に関するビデオや紙資料も そのため、 70 年分の資料が収蔵されて 利用された劇団からポス などの資料を必ず受け取 また、 ⁷⁰ 周年です。 俳優座劇場プロ 年史が大好き 関係

蔵される予定です。は、舞台美術部がある埼玉県越谷市の大きな工場に収は、舞台美術部がある埼玉県越谷市の大きな工場に収宮澤(オリジナルはまだ保管しています。劇場閉館後

1。で、劇団は劇団で、劇場は劇場で資料を収蔵していまで、劇団は劇団で、劇場は劇場で資料を収蔵していませんのーカイブ作りに関して特に協定は結んでいませんの宮澤 劇団と劇場は別々に資料を保管しています。ア

岡室 資料は一度紙媒体で整理した後、そのまま保管

| 宮澤 はい。現在、演劇博物館で企画展「築地小劇場| はい。現在、演劇博物館で協力を得て、資料が散逸しないようにしたでん[*4]の所蔵資料が納められています。やはり、演のでを展」が開催されており、そちらに倉林誠一郎のでを表しています。



▲演劇博物館企画展 「築地小劇場 100 年 – 新劇の 20 世紀 – _

岡室 ありがとうございます。演劇博物館は貴重な資**岡室** ありがとうございます。 」は、 のに協力していきたいですね。外波山さいことを望んでいますが、収蔵庫の問題もあります。 とを望んでいますが、収蔵庫の問題もあります。 は、 の収蔵活動が進

がありましたが、逆に支援を受けることができました。F[*6]などの支援に助けられました。3回の公演中止り、コロナ禍では「アートにエールを!」[*5]やAF外波山 当劇団のウェブサイトに掲載されている通

とが黒田誠太郎の歴史にもなりました。年間、私は黒田さんとずっと一緒に作り続け、そのこ居をやる限り描く」と言ってくれました。それから 50ほしい」とお願いしたところ、黒田さんは「お前が芝居をやる限り描く」と言ってくれました。それから 50年間、私は黒田さんに太郎さんと共に作ったもので、当時私は黒田さんに太郎さんと共に作ったもので、当時私は黒田さんに太郎さんと共に作ったもので、当時私は黒田誠なおこの時記録したポスターは、 50年前に黒田誠

成を受け、一枚ずつ記録として残しました。れが70枚ほど。これらは「アートにエールを!」の助枚50万円程度の値段で売られています。うちにはそ現在、黒田筆のポスターが、神田のポスター屋で一

保存しておくことが重要だと考えています。 、アーカイブとしてきちんと記録を 、大賞を受賞したことがあります。これらの映像は 祭の大賞を受賞したことがあります。これらの映像は 祭の大賞を受賞したことがあります。これらの映像は ないます。やはり、アーカイブとしてきちんと記録を といます。やはり、アーカイブとしてきちんと記録を という番組があり、佐々

ありがとうございました。 ーは、ウェブサイトで映像としてもご覧いただけます。 ーは、ウェブサイトで映像としてもご覧いただけます。

きればと思います。る場所ですので、何を残すべきかについても議論がでる場所ですので、何を残すべきかについても議論がで思いますが、劇場はさまざまな記憶や記録が集積されそれぞれが資料に対してお持ちの考えがあるかと

◇コメンテーターより

象的で け 回 り、 吉見 びやかな街並みが見えるというこの落差が非常に 道具が登場し、蛇や竜、神獣のような存在が舞台を駆 見した外波山さんの椿組『椿組花園の夜』のドキュメ ンタリー映像に感動しました。怪物や動物のような大 三人のお話は本当に素晴らしく、 した。 役者たちが動きながら、 この映像は椿組が創り上げてきたワ その背後に 特に先ほど拝 新宿 この煌 ク

クする部分そのものを感じさせてくれました。



今日はアーカイブに関する話ですので、第一部の話の自分を発見することにも繋がっていくという、入れの演劇史を発見したという点がとても深い話だと感じました。辻村さんがアーカイブを進めることで自分の中でを見つけ、それが同時にもっと大きな演劇史の演劇じました。辻村さんがアーカイブを進めることで自分の中の自分を発見することにも繋がっていくという、入れの自分を発見するにも繋がっていくという、入れの自分を発見するにも繋がっているということだと思います。

るという考え方です。 演劇史を作る」という見方もあり得るのではないでし 可能性がありますが、もう一つの答えとして、「劇場が るのか、劇作家や役者が作るのかといったさまざまな 史を誰が作るのか」という主体の問題です。 れていると感じました。ここで問題になるのは、「演劇 村さんのお話には、 ッパには常に存在しているという話です。先ほどの辻 げていくかに繋がるという、素晴らしい環境がヨーロ の時間軸においてどのように自らの演劇史を作り上 エーションを生み出すかを考えることが、その演劇史 繋がります。役者や演出家が過去のアーカイブと対峙 蓄積が新たな創作にどのように活用されて うに、ヨーロッパの演劇における巨大なアー ょうか。劇場という「場」そのものが演劇史を形 しながら自分をどう位置づけ、どのように新たなクリ この話は、先ほど平田オリザさんがおっしゃ 演劇史に通じる重要な視点が含ま 劇団が作 カイ いるかに ったよ ぞづく ・ブの

す。 はがあり、駒場アゴラ劇場にも独自の特異性がありま性があり、駒場アゴラ劇場にも独自の特異性が重要であるとというわけではなく、その場の特異性が重要であるとという視点は興味深い一方で、実際には「どこでも」外波山さんのお話にあった「どこでも劇場になる」

た。特に歩きたいと思っていたのは、アゴラ劇場の裏実は私もここに来る前、アゴラ劇場を訪れてみまし

ないかと考えます。 さことには、演劇史的に何かしらの意味があるのでは がす。こうした「川」や「池」の周囲に劇場が存在することには、演劇史的に目黒川に合流しますが、この都市構 を辿ると最終的に目黒川に合流しますが、この都市構 です。こうした「川」や「池」の周囲に劇場が存在することには、演劇史的に何かしらの意味があるのでは ないかと考えます。

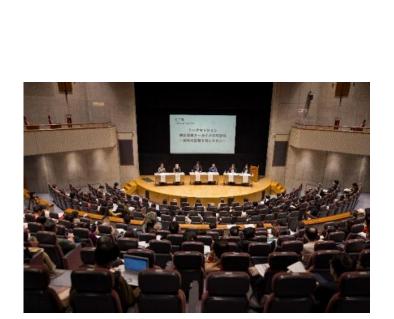
このような考え方は、一体何を意味するのかと問わてのような考え方は、一体何を意味するのかと問わてのような考え方は、一体何を意味するのかと問わてのような考え方は、一体何を意味するのかと問わてのような考え方は、一体何を意味するのかと問わてのような考え方は、一体何を意味するのかと問わるれます。

残されていることに他なりません。たものの中に刻まれた記憶の痕跡が、具体的な場所にえる必要があります。それは、都市や日本列島といっその劇場が内包するアーカイブ性とは何なのかを考るして、劇場が演劇史を作るという視点に立つとき、

のではないかと考えます。
のではないかと考えます。
その方法論が次世代に継承される可能性が生まれるです。そして、その蓄積をアーカイブしていくことで、た方法論を蓄積してきたことは、非常に意義深いこときたのではないでしょうか。それぞれの劇場がこうしきの方法論を蓄積してきたことは、非常に意義深いことです。そして、その蓄積をアーカイブしていくことで、その記憶や痕跡を可視化する方法が、例えば大道具



語の始まりを感じさせるように思えたのです。 最後に、このホール(井深大記念ホール)は豪華で 最後に、このホール(井深大記念ホール)は豪華で 最後に、このホール(井深大記念ホール)は豪華で 記がなりを感じさせるように思えてしまったのです。 を席の境目、あの一番低くなっている場所に川が流れているように思えてしまったのです。 を席の境目、あの一番低くなっている場所に川が流れているように思えてしまったのです。 を席の境目、あの一番低くなっている場所に川が流れているように思えて、その境界で演劇が始まるように として、 を席の境目、あの一番低くなっている場所に川が流れているように思えて、 を席の境別が、何か新しい対話や物感覚を抱きました。 この場所が、何か新しい対話や物感覚を抱きました。 この場所が、何か新しい対話や物感覚を抱きました。 この場所が、何か新しい対話や物感覚を抱きました。 この場所が、何か新しい対話や物感覚を抱きました。 との場所が、何か新しい対話や物感覚を抱きました。 との場所が、何か新しい対話や物に関する。 との場所が、何か新しい対話や物に関する。 との場があると、最近街



岡室 さすが演劇と空間の関係を深く追求されてきてれます。

くのだと思います。をいかにアーカイブするかという課題に繋がっていをいかにアーカイブするかという課題に繋がっていの問題です。劇場は単なる箱ではなく、その場所全体。これは非常に重要なテーマで、つまり演劇の「場」

こで梅山さんにコメントをお願いしたいと思います。議論にも発展していくように思います。それでは、こずラ劇場の資料を埼玉に運ぶだけで十分なのか、といったで非常に意義深いことです。そう考えると、こまばアびれでいるのは、その街全体を記録しているという点込んでいるのは、その街全体を記録しているという点込んでいるが、椿組の映像で新宿の街並みや道路が映り



中に身を置いた時、子育てで四六時中子どもと向き合 台との濃密な関係性です。 た。それが私にとって出産後初めての観劇体験でした。 何とかして花園神社まで足を運び、 をこれで最後にすると聞き、 ができなかったのですが、その後、 もあり、残念ながらアゴラ劇場の最終公演を観ること て、大興奮しておりました。今年の春に出産したこと う日々から解放され りのような賑わ しました。まだ生まれたばかりの子どもを抱えながら、 特に印象に残ったのは、 ルを販売する時間があり、それによっ 一緒に外波山さんの素晴らしい椿組の映像を観 私は現在、 いが生まれていました。 生後6か月の子どもがおりまして、 心の底から救われた思い テント芝居特有 椿組では開演前にお水やビ これは見逃せないと決意 椿組さんが野外劇 観劇を果たしまし その て一種のお祭 の客席と舞 賑わ ・がしま りの

集まれる場です。そうした人々を癒し、 後や二百年後の誰かを慰めるかもしれないという考 ての劇場の役割を改めて実感しました。 心を救い、不特定多数の人がそれぞれの思いを抱えて えに深く共感します。劇場は単なる娯楽の場ではなく、 平田さんがおっしゃったように、 劇場や作品は百年 慰める場とし

賑わい、 ては、 イブするのかという課題も感じました。 同時に、この劇場という空間で一時的に立ち現 今後さらに考えていきたいところです。 あるいは「客席の記憶」をどのようにア この点に つい ń 力 る

とができなくなっています。 招きするなど、錚々たる方々にご参加いただきました。はじめ、アメリカからエレン・スチュアートさんをお た。当時、唐十郎さん、蜷川幸雄さん、別役実さんを 再考」という3日間にわたる国際研究会を開催しまし があり、2008年、今から 16 年前に「 しかし、その方々の多くが、 まり、2008年、今から 16 年前に「60 年代演劇話題を少し変えますが、この井深ホールには私も縁 今ではもうお話を伺うこ

重要性が増しており、 ました。特に映像資料や写真といった視覚的な記録の 巡るアーカイブや記録のあり方は大きく変化してき に収集する動きが加速しています。この傾向は特に A[*10]といった取り組みを通じて、これらを積極的 それからの ナ禍を契機として強まったように感じます。 16 年間で、60 年代以降の小劇場演劇を EPADや演劇博物館のJDT コ

視点が反映された記録です。この写真を通じて、

劇場

空間が彼の目にはどのように映ったのかという手触

りを感じ取ることができるのではないかと思います。

ありますが、それもまた撮影者である鹿野さん自身の

色彩や構図に加工が加えられている場合も

の写真は、

をどう記録するかをテーマにしていました。鹿野さん

そうした劇場に行き交った人々の手触りや躍動感

。この連載では「役者の住処」というタイトルを掲劇場というのは、数多の人々が動き、交わる場所で

わたり、 を行って テントを取り上げ、 とともに執筆していました。こちらは建築家でありパ 私自身は、 建築雑誌『住宅建築』でいくつか いました。 建築家の方々と一緒に「小劇場勉強会」 その際、 それらを記録する連載記事を仲間 2013年から数年間に の小劇場や

> ノラマ写真を用いて劇場を記録したものです。 ノラマ写真家でもある鹿野安司さんによる記録で、



山円形劇場のパノラマ写真。 ズームにも耐える高解像度。



梁山泊のアトリエ 「芝居砦 ラマ写真。 客席の記憶や賑わい、舞台 の記録が含まれている。

チュー、 劇は絶滅危惧種とされる中で、 冒頭でお話しした椿組の建て込みの様子を含むユー しまったという事実には大きな危機感を覚えて 野外劇についても少し触れておきたいと思います。 ブ動画は、非常に貴重な記録です。 椿組も野外劇を終えて 現在、野外 いま

舗劇団が野外劇を終えました。 関西では、数年前に「犯罪友の会」[*11 」という老



語っています。 語っています。 語っています。 これは法律や社会情勢との兼ね合いで生まれたもかけた馬蹄型の劇場を作るという特徴的な構造でしかけた馬蹄型の劇場を作るという特徴的な構造でした。これは法律や社会情勢との兼ね合いで生まれたもだけを使って舞台を組む方法を採用していました。さだけを使って舞台を組む方法を採用していました。さこの劇団は独特な建て込み手法を持っており、丸太

の大きな課題だと感じています。 ロセスをどのように記録し、継承していくかは、今後いないという問題が発生します。このような技術やプント劇をやりたいと思っても、それを建てられる人がント劇をやりたいと思っても、それを建てられる人がより、次世代へ継承されず、10年後や20年後にテまうと、次世代へ継承されず、10年後や20年後にテ

す。以上です。
問題提起として挙げたいのは、以下の二点です。一問題提起として挙げたいのは、以下の二点です。一問題提起として挙げたいのは、以下の二点です。一問題提起として挙げたいのは、以下の二点です。一

大術的な問題だと感じます。 また、テントを建てる技術の継承というのは、非常にることが可能かどうか、という問題が一つあります。在するものですよね。その観客の記憶をアーカイブすいというのは、観客それぞれの個々の記憶としても存いというがは、ありがとうございます。客席の賑わ

> **岡室** 吉見先生から出た「場の問題」、梅山さり様 関室 吉見先生から出た「場の問題」、梅山さり様 の室 吉見先生から出た「場場のアーカイブは単外よれまでの議論を通じて、劇場のアーカイブは単外よれまでの議論を通じて、劇場のアーカイブは単外よれまでの議論を通じて、劇場のアーカイブは単外よれまでの議論を通じて、劇場のアーカイブは単外よれまでの議論を通じて、劇場の門題」、梅山さり様別ないきなのか。 宮澤さん、いかがでしょうか。 罪力

ていくのか、という視点は非常に重要だと思います。そのため、観客の中でどのようなお芝居が心に刻まれますが、最終的には観客の中に残っていくものです。お芝居は作る人や表現する人たちのものではあり

外波山 今、演劇鑑賞会などで収集しているアーカイ外波山 今、演劇鑑賞会などで収集しているアーカイ

は既成の曲を使用しているのですが、すべての打ち込例えば、私たちの団体では音楽に関して、上演時に

法を取っています。で、ジャスラック[*13]への支払いを避けるなどの方みは私たちの音楽家が担当しています。こうすること

いては、私もまだはっきりとは分かりません。れません。しかし、これから先どうなっていくかにつ無料で仲間内だけで視聴するのなら問題ないかもししたビデオを扱う場合、有料で公開することは難しく、ただ、これから先、アーカイブとして鑑賞会で撮影



岡室 著作権の問題は、アーカイブを考える上で非常 のではないかと思います。 との後で著作権について考えるという方法もある との多ンポジウムでしました。まずは集めてお が良いのではないかという話を、ちょうど一昨日のE が良いのではないかという話を、ちょうど一昨日のE が良いのではないかという話を、ちょうど一昨日のE

演の際、演出家は外部から来ますが、ドラマターグやが、稽古場には入ってはいけないという契約です。再「来るな」と返事がきました。見に行くのは構わない再演時、私が「見に行こうか」とメールしたところ、

これがヨーロッパのレパートリーシステムです。変わっても、再現可能になる仕組みが整っています。おうな演出をしているのかという意図も含めてアーような演出をしているのかという意図も含めてアーなります。そのメモは、動きだけでなく、なぜその演出助手は劇場付きのスタッフが担当し、詳細なメモ

ムを支える要因でもあります。が成り立っています。それがレパートリーシステ参照のためではなく、ヨーロッパでは生きたアーカイが成り立っています。そのため、アーカイブは単なるの権利処理をきちんと行うことで、こうしたシステム

と思われるかもしれませんが、ヨーロッパでは著作権

日本の演劇人からすると、ここまでやる必要はない

のでしょうか? 岡室 その詳細なメモの著作権は、演出家に帰属する

平田 実際、著作権法上、演出家には著作権が発生し 平田 実際、著作権法上、演出家には著作権が発生し の代わりすごくたくさんお金をもらいます。 の代わりすごくたくさんお金をもらいます。 の代わりすごくたくさんお金をもらいます。 の代わりすごくたくさんお金をもらいます。 の代わりすごくたくさんお金をもらいます。 の代わりすごくたくさんお金をもらいます。



◇場所の記憶

てはどのようにお考えでしょうか?劇場について、駒場にあるという「場」の問題につい岡室 少し前の話に戻りますが、例えばこまばアゴラ

平田 現在私たちが作った劇場は、まさに江原河畔劇平田 現在私たちが作った劇場は、まさに江原河畔劇平田 現在私たちが作った劇場は、まさに江原河畔劇

は、 が、 でいため、そこに特別な思い入れはなかったのですが、 は、劇場を作る側としては、先のことにしか関心がない は、劇場を作る側としては、先のことにしか関心がない が優だちは非常にセンチメンタルになりました。多く の俳優がアゴラで初舞台を踏んでいますから。私自身 はあまりセンチメンタルにはなりませんでしたが、 私はあまりセンチメンタルにはなりませんでしたが、 私におっしゃるように、その土地には歴史がありません。 のはのですが、 のはのでいます。アゴラ劇場の閉館時、 という感覚を持っています。アゴラ劇場の閉館時、 という感覚を持っています。アゴラ劇場の閉館時、 というにはなりませんでしたが、

を親しくなり、その土地を比較的安い価格で譲ってもたいて、坪内逍遙さん[*1]も治療に訪れたことがあるんです。祖父は軍医として沖縄戦で亡くなったのたました。戦争未亡人となった祖母を引き取らなけ焼けました。戦争未亡人となった祖母を引き取らなけたました。共産党に関わりがあったの学生時代に中退ればならない事情で、父は旧制一高の学生時代に中退ればならない事情で、父は旧制一高の学生時代に中退ればならない。その土地は戦時中で、私は会ったことがありません。その土地は戦時中で、私は会ったことがありません。

でいます。 その土地では、喫茶店とスタジオが運営されていて、 をの土地では、喫茶店とスタジオが運営されていて、 をの土地では、喫茶店とスタジオが運営されていて、 をの土地では、喫茶店とスタジオが運営されていて、 をの土地では、喫茶店とスタジオが運営されていて、

内容はどこかに書かれていますか? 岡室 今のお話、とても興味深かったのですが、その

載が始まる予定です。
悲劇以前、さらには平田オリザまでをテーマにした連連載を始めますので、そこで演劇の起源からギリシャーので、少しずつ書いていますが、来月から『群像』に

ますが。おじい様の話は少ししか触れられないような気がしおじい様の話は少ししか触れられないような気がしていい。

岩波から出ている本の中に少し書いてあります。平田 実はうちの祖父の話は『演劇のことば』という

宮澤 俳優座劇場の裏手には六本木中学校がありま 内のNPO団体が入っていた時期があり、現在は麻布かのNPO団体が入っていた時期があり、現在は麻布かのNPO団体が入っていた時期があり、現在は麻布かのNPO団体が入っていた時期があり、現在は麻布かり、その中学校が一度、NPOハウスとしていくつかり、その土地に警察署が建設されることについてかり、その土地に警察署が建設されることについてがり、その土地に警察署が建設されることについてがり、その土地に警察署が建設されることについて

す。

「港の見える劇場」というエッセイにも書かれていまるため、坂道には神社仏閣が多く存在するという話もるため、坂道には神社仏閣が多く存在するという話もでいるように、坂道には神社仏閣が多く存在するという話もでいるように、坂道には人間の神聖な何かが宿っていまた、中沢新一さんの『アースダイバー』に書かれまた、中沢新一さんの『アースダイバー』に書かれまた、中沢新一さんの『アースダイバー』に書かれ

三大劇団を巡るような感覚があったと言います。その 史を考えることは大切です。また、人と人との間で語 として受け継がれています。ですので、劇場のア 都電を、俳優座劇場の夜公演後、終電が終わってしま は俳優座劇場があり、青山には民藝が、そして少し北さらに、新劇の古い劇団について言うと、六本木に とても重要だと感じています。 センチメンタルな話になりますが、 ていくということも、非常に大切だと思います。 り合い、魂を感じ取る中で、劇場の歴史が受け継がれ った際にスタッフ全員で止めたという話もあります。 っていて、新橋から都電を北上すると、まるで新劇の の信濃町には文学座がありました。都電がその間を走 ブは非常に重要で、物や出来事から劇場の土地や歴 このように、劇場の記憶は先輩方から聞く思い出話 そのようなことは ーカ

岡室 素晴らしいお話をありがとうございます。老舗**岡室** 素晴らしいお話を思いのか、というのが今日ののだということですね。しかし、そのような記憶をアのだということですね。しかし、そのような記憶をアーカイブすることはできないのか、というような記憶を出めるために一生懸命努力したりというような記憶、それこそが個人から個人へと受け渡されていくもの新電の新劇劇団の劇場が都電で結ばれていたり、その都電の新劇劇団の劇場が都電で結ばれていたり、その都電の新劇劇団の劇場が都電で結ばれていたり、その都電の新劇劇団の動物であるかと思います。



◇観客の記憶をいかにアーカイブするか?

岡室 俳優座劇場のように非常に長い歴史を持つ劇**岡室** 俳優座劇場のように、そのかではないかとも感じます。そう考えると、劇場全に、その劇場自体にもうごめいているようなものがあに、その劇場の上である」といった言葉があるように、まれて、吉見先生が先ほどおっしゃったように、場において、吉見先生が先ほどおっしゃったように、場において、古見先生が先ほどおっしゃったように、場において、古見先生が先ほどおっしゃったように、場において、

古見 オリザさんのおじい様は駒場にお住まいだったのでしょうか? 牛込ですね。了解しました。 に降りると笄川(こうがいがわ)という川があり、これは渋谷川の支流です。また、赤坂の方に行くと鮫川れは渋谷川の支流です。また、赤坂の方に行くと鮫川れは渋谷川の支流です。また、赤坂の方に行くと鮫川れは渋谷川の支流です。また、赤坂の方に行くと鮫川れは渋谷川の支流です。また、赤坂の方に行くと鮫川れは渋谷川の支流です。また、赤坂の方に行くと鮫川という川があり、これは赤坂御所の横を通っていて、という川があり、これは赤坂御所の横を通っていて、たのでしょうか? 牛込ですね。了解しました。 古見 オリザさんのおじい様は駒場にお住まいだっ

> ることで、逆に個人を超えて、長期間にわたってその 有権を帰属させすぎる傾向があると思うんですね。 う立場です。 文化が組織に帰属しているのであれば、それは別の個 文化は存在し続けることができます。お寺や神社がそ に文化の財産を帰属させるべきだと思います。 かし、公共財として成り立つためには、劇場という場 や権利者、場合によっては観客一人ひとりに文化の所 上げたいことがあります。まず一つ目は、著作権の話 人に帰属する財産とは別の扱いを受けるべきだとい ているから、税金が免除されるのです。ですが、 の良い例で、 という問題だと思います。日本社会はどうしても作者 が出ていましたが、結局これは「文化は誰のものか」 それはさておき、先ほどの話に関連して、二点申し これらの財産は本来神様や仏様に帰属し そうす もし

続ければ良いわけです。テレビ脚本や映画の脚本、芝居の脚本も同様に記録し、ボジタル化することで保存できます。との記憶についてです。舞台で言語化された部分はを席の記憶についてです。舞台で言語化された部分は

さらに良いでしょう。影できます。8Kのような高解像度で撮影できれば、影できます。8Kのような高解像度で撮影できれば、寒台の映像も撮また、映像をきちんと記録すれば、舞台の映像も撮

るかということも重要です。 しかし、それだけではないというのが、先ほどの梅 しかし、それだけではないというのが、先ほどの梅 しかし、それがら、観客の雰囲気や空間の雰囲気、音 がは、芝居をしている最中に船が揺れるのです。その がは、芝居をしている最中に船が揺れるのです。その がは、芝居をしている最中に船が揺れるのです。その があります。その劇場 では、芝居をしている最中に船が揺れるのです。その劇場 では、芝居をしている最中に船が揺れるのです。その劇場 が響き方など、こういったものがどのように記憶され の響き方など、こういったものがどのように記憶され の響き方など、こういったものがどのように記憶され の響き方など、こういったものがどのように記憶され の響き方など、こういったものがどのように記憶され

市を作ることだと思います。 はが言われたように、劇場が生き続けられるような都録することができますが、根本的には最初にオリザさに次的にはデジタルアーカイブやその他の手段で記にすすればそれが記憶として残るのかという点で、

学ばなければならないことが多いと考えます。学ばなければならないことが多いと考えます。東京は地方から政策が必要かをしっかり議論しのです。そういった都市を実現するためには、どのよのです。そういった都市を実現するためには、どのよのです。そういった都市を実現するためには、どのよのです。そういった都市を実現するためには、どのよのです。東京は地方から政策が必要かをしっかり議論していることが、もっと生き生きとし我々が今議論していることが、もっと生き生きとし

岡室 劇場が残ることが一番大切だという話ですね。



吉見 アーカイブに関して言うと、劇場の雰囲気や客店見 アーカイブに関して言うと、劇場の雰囲気や客店見 アーカイブに関して言うと、劇場の雰囲気や客

外波山 記録として残すことは大切ですが、私は皆さ が波山 記録として残すことは大切ですが、私は皆さ が変功 記録として残すことは大切ですが、私は皆さ

これを記録することができないのか、あるいは、こう での道のりや、帰り道もまた一つの観劇体験なのです。 場だからこその体験でもあります。その劇場に行くま しょう。 われる感覚があるからこそ、劇場の閉鎖が悲しいので 感覚から来るのだと思います。劇場で観た芝居の記憶 られることの悲しさは、自分の体験が失われるような おっ った記憶が個人に帰属するものだけで良い その場所での体験がなくなることで、 しゃることはもっともだと思います。 アーカイブの重要性を問う場ではありますが、 それは個人の記憶であり体験ですが 劇場が閉じ 何かが損な か、その劇 のか

し考えてみたいと思います。

ことも忘れてはいけません。
ことも忘れてはいけません。
ないて演劇批評は専門家が発信していましたが、今かつて演劇批評は専門家が発信していましたが、今かつて演劇批評は専門家が発信していましたが、今かって演劇批評は専門家が発信していましたが、今かって演りを表示していましたが、今かって演り、またそれが劇場の記憶と結びついているとも忘れてはいけません。

あると思います。梅山さん、何かありますか。体験しに劇場に行っているのか、それを考える必要がう問題にもつながっていくと思います。私たちは何をら残すかという問題は、劇場が何であるかを問無台芸術アーカイブにこだわりたいと思いますが、

ます。 梅山 ますが、場所自体は別の用途で現在も使われ続けてい ラウンドシアター自由劇場としては既に閉館して れていくかということです。 場空間がどのように継承され、 きいということです。ここで述べたのは、物理的 たした意味は、劇場自体が物語るものとして非常に大 自由劇場の誕生を促し、その劇場が演劇史において果 しては自由劇場を挙げることができます。 俳優座劇場の存在がアンダーグラウンドシアター その場所を記録した写真も残っています。 先ほどの六本木の話に戻りますが、 演劇史として形 私の専門と アンダ づくら な劇 つま 61 グ

触れたいと思います.
生き続け、受け継がれていく精神的な部分についても物理的に残りにくいものの、だけど確実に人々の中にまた、先ほどから議論されている問題に関連して、

NAとして引き継がれていると言えると思います。の精神性が確実に受け継がれており、これが演劇のDこまばアゴラ劇場を経て生まれた若手劇団には、そ

当時の人々はカメラを向けられるとピースをすると 客席もまた重要な文化遺産として記録されるべきだ されていました。 映されます。私は土俵の上よりも、 相撲の中継をよく見ますが、溜席と枡席の様子が必ず 要なことだと考えています。 と思います。 われたように、 いうような、文化や社会の姿が映し出されているので いて「ウェーイ」と盛り上がっているシーンが映し出 よく観察してしまいます。 ですが、そもそもお客さんを記録することが非常に重 優勝インタビューの際に、観客が力士を平気で叩 吉見先生が、川があり舞台から芝居が始まると言 お客さんをどのように記録するかについ 相撲中継を見ていて、 芝居が始まる場所は舞台だけでなく、 今ではあまり見られない光景ですが、 特に 80 年代の相撲中継で 私はお相撲が好きで、 お客さんの様子を そう感じました。

後の課題となるのでしょう。じています。どのような形でそれを記録するかが、今演劇においても、客席の存在は記録として必要だと感



ており、終わらなければならない状況となっています。下げていきたかったのですが、気がつけば時間が迫っいうのは非常に大きな問題で、そこをさらに深く掘りしゃったように、言語化されない部分をどう残すかとしゃったように、言語化されない部分をどう残すかと

ばよい も含まれます。それらをどう加えていくかが、 どが考えられますが、そこには場の問題や記憶の問題 た演劇の映像や、チラシ、ポスター、 劇場を後から想起できるように、どうやって周辺の ことができないのと同じように、劇場そのものも残れ らの課題だと考えています。 ナツの構成要素としては、例えばそこで上演され ーナツ」を手厚くしていくかが重要だと思います。 のですが、残念ながら閉館してしまうこともあ の冒頭にも述べましたが、 ですから、 その劇場が残らない場合に、 演劇そのものを残す パンフレットな これか その

◇終わりに

良いと言いました。これは、ギリシャのアテネに行か劇場」などを考えていたのですが、それは避けた方が場ですが、その命名は私が行いました。父は「駒場のの話がありましたが、アゴラ劇場は私の父が作った劇で出 梅山さんから俳優座劇場と自由劇場について

二十歳の私を褒めてあげたいと思うことがあります。ン、私たちがアゴラというイメージがあったからです。れた方ならわかると思いますが、東京大学がパルテノ

で、お墓参りに行く際には私にとっても便利です。 にいるお墓は多磨霊園にあり、そのすぐ近くに三好十にいるお墓は多磨霊園にあり、そのすぐ近くに三好十郎のお墓があり、さらに 30 秒ほど歩いたところには郎のお墓があり、さらに 30 秒ほど歩いたところにはが、さっきお墓の話が出ました。私の祖父と父が入っが、さっきお墓の話が出ました。私の祖父と父が入っが、さっきお墓の話が出ました。私の祖父と父が入っが、お墓参りに行く際には私にとっても便利です。

重要だと考えています。 もう一つ、演劇史に参加するという話がありました しては、そういった視点からもアーカイブスの役割が が、太田省吾さんが以前のシンポジウムで、「日本の演 劇史ではなく、世界の演劇史の中で戦いたい」とおっ には非常に驚きました。やはり日本の若い演劇人には、 には非常に驚きました。やはり日本の若い演劇人には、 には非常に驚きました。やはり日本の若い演劇人には、 ではわからないことがあるからです。なぜなら、世 界がどうなっているのか、そして私たちが現在この地 点にいる理由を理解するためには、日本の演劇史だけ ではわからないことがあるからです。アーティストと しては、そういった視点からもアーカイブスの役割が しては、そういった視点からもアーカイブスの役割が

宮澤 お墓の話に関連して言いますと、私も大叔母の 宮澤 お墓の話に関連して言いますと、私も大叔母の 宮澤 お墓の話に関連して言いますと、私も大叔母の という で、領別ファンには良い場所だと思います。 を担別場が掲げた「演 がら百年を迎えるにあたり、築地小劇場が掲げた「演 がら百年を迎えるにあたり、築地小劇場が掲げた「演 がら百年を迎えるにあたり、第十二年のお墓が を記述するとが重要であると感じます。

それを参照できる形になっています。鑑賞会には膨大な資料が残されており、会員であればその系譜に演劇鑑賞会が存在すると思います。演劇

一会後、劇場という場をどう残していくか、アーカイ今後、劇場という場をどう残していくか、アーカイの年代前半、当時は小劇場や中劇場を公共事業で作ったが重要だと思います。俳優座劇場が生まれた195点が重要だと思います。俳優座劇場が生まれた195点が重要だと思います。俳優座劇場が生まれた195点が重要だと思います。俳優座劇場が生まれた195点が重要だと感じています。

さんと共にその答えを見つけていきたいと思ってい館しなければならなかったのかを考え続け、観客の皆 残念ながら俳優座劇場は来年閉館しますが、なぜ閉

死んでいませんので、これからもよろしくお願い されていますが、来年も続けていきます。演劇はまだ なっているのではないかと思います。チラシにも記載 み重なってきた結果、 で 39 年間にわたり様々な芝居を行い、その経験が積 その後、野外劇、路上劇、シルクロード劇、旅回りな ラ演劇の中心に身を置き、 が、1967年に演劇集団「変身」に参加し、アング外波山 自分の歴史を振り返るわけではありません さまざまな活動を行いました。その後、花園神社 ありがとうございました。 私は自身が一つのアーカイブと 新宿騒乱を体験しました。 いた

話をしたいと思います。 ポジティブな「葬式的な話」として捉え、少しお墓の 宮澤さんのお墓の話が出たので、 ことが、まさにその通りだと思います。オリザさんと 外波山さんが自身をアーカイブスだと言った 今日は劇場の閉館を、

場にも似ていると思います。劇場は異なる時間や次元 タイムトンネルのように感じられます。この感覚は劇 ような存在だからです。お墓は、死者の世界に繋がる [*16]の愛」が交錯する様子が演劇的だと思います。 テルの看板が見え、「愛」と書かれた塔が立っています。 た。昼間に谷中霊園を歩くと、墓石の向こうにラブホ で歩いたことがあり、その静けさがとても印象的でし 適な時間は夜です。真っ暗な中、スマホの明かりだけ私は街歩きをよくするのですが、谷中霊園を歩く最 「愛」と「愛」が重なり、「エロスの愛」と「タナトス お墓が演劇的だと感じるのは、都市の中の「穴」の 会いの場であり、 その魅力に惹かれるのです。

穴がたくさんあることが重要で、今の東京はその穴を と言ったことが誰かに伝わるかもしれません。都市に 波山さんがこのシンポジウムで「俺がアーカイブだ」 の人々に届ける手段となります。例えば、 ているからです。アーカイブは、過去の声や姿を未来 と、現在の資本主義社会の中で、ミュージアムやアー す。デジタルアーカイブがなぜ親和性があるかという |めようとしています。アーカイブや演劇博物館、ド イブ自体がタイムトンネルのような役割を果た 実は、アーカイブも同じようなものだと考えていま ナツ・プロジェクトのように、都市の中に穴を開け くことが必要だと感じています。 50 年後、外 L

> います。 問題について、皆さんの話を聞いて、今日のテー梅山(客席の記憶をどのように残していくかと 指していると思います。個々の記憶をどのように広く うのは、所有としての意味ではなく、開かれた記憶を ことだと感じました。ただし、この 個人的な記憶や思い出をいかに未来に残すかという 公共財として残すことが、私たち研究者の課題だと思 アーカイブだ」と言ったように、百年後にその記憶を 未来に残すかが重要です。外波山文明さんが「自分が 客席の記憶をどのように残していくかという 「私の記憶」とい ・マは

イブが広まりました。このように、作品は公共財だと により、ファンコミュニティによって作られたアーカ のの、ファンたちが自ら録音して公開しました。 ライブを行いましたが、主催者が録音をしなかったも のではないかと思います。 保存に参加することで、演劇もより豊かに未来に残る 有するのではなく、未来に向けて開放し、観客もその いう意識が広がれば、作り手は「私の作品」として所 デッド」[* 17 デッド」[*17]の例です。このバンドは膨大な数の最後に紹介したいのは、ロックバンド「グレイトフ これ

そのために税制や法律、 岡室 化全体が劇場をどう残していくかを考えるべきだと と感じます。残念ながら閉館が決まった劇場の方々に う点が、今日の最大のメッセージだったのではないか 強く感じました。 お集まりいただきましたが、いかにして劇場を守るか、 ーカイブであり、決して劇場を潰してはいけないとい つまり、劇場自体が多くのものや記憶を詰め込んだア うことだと思います。司会者として無理にまとめると、 たがって全てがアーカイブの対象となるべきだとい 「劇場自体がアーカイブだ」ということになります。 劇場だけに任せるのではなく、私たちの社会や文 劇場、作品、記憶、 助成などの議論がありました すべてが公共財であり、し

ればならないという結論に至ったと思います。 ありましたが、最終的には劇場そのものを保存しなけ 最初のテーマである劇場資料の保存について話が

ます。演劇博物館に代わり、私からも感謝の気持ちを でお残りいただいた皆様にも心からお礼を申し上げ 上げます。改めてゲストの皆様に大きな拍手をお願い お伝えします。本日は本当にありがとうございました。 いたします。ありがとうございました。そして最後ま 素晴らしいお話をいただきましたことに感謝

26

劇

唐組



っている とし、新 で家・ いる新 る。移動式テー族出家の大利宿・花園は 国神社をはい カント劇場 に、 じっょ め紅っ 、ティ 地方の3人と198 の様々な土地を巡での公演を特徴

*2:新宿梁山

は演宿集劇じ劇にう団 団 9 名 8 内で 内し、 持と、 小珍 のア始漢本 公演を対したがいます。

までい参加する「たじま児童劇団」の活動拠点でもあり、2階には稽古やワークショップ、発表会などがでもので、レンガ調の温かみのある外観が特徴。1階にはもので、レンガ調の温かみのある外観が特徴。1階にはも機能している。劇場は、旧豊岡市商工会館を改築したも機能している。劇場は、旧豊岡市商工会館を改築した兵庫県豊岡市にある劇場で、2020年4月に開館した。4:3:江原湖畔劇場

を受賞するなど高く評価されている。多くの功績を残した。著書『新劇年して、俳優座劇場の創立を主導し、演劇制作者(演劇プロデューサー)。 4 .. 、俳優座制作者(海劇プラ (くらば Þ し • る。 年代記』は、菊池寛賞 、新劇の制作者として 。劇団俳優座の主事と いいちろう)

られる機会を提供することを目的としている。動を支援するとともに、在宅でも都民が芸術文化にした作品をウェブ上で発信する機会を提供し、彼らるために立ち上げたプロジェクト。アーティストがるために立ち上がたアーティストや文化関係者を支2020年、東京都が新型コロナウイルス感染症の2020年 に対したが支影の制援影 れ活作す響

動の持続可能性を強化することを目的としている。行った上で積極的に公演や展覧会を開催し、文化芸術業。この事業は、文化芸術関係団体が感染対策を十分芸術活動を支援するために、2021年から実施した文化庁が新型コロナウイルス感染症の影響を受けた文学6:AFF(ARTS for the future!)

活に事化

舞台芸術アーカイブ+デ(Eternal Performing Arts 2 益権映化曲カイ 0 化利、や、イ

*8・テ ムズ川

3 4 グ 0 年 ロ メに シロ エンイド ハートル離れたロリックスピアの割って、クスピアの割った。 地に再建された。 、1997年に当時の場所から2 た。清教徒革命のさなか、164 である「宮内大臣一座」によって



文化庁 令和6年度「大学における文化芸術推進事業」舞台公演記録のアーカイブ化のためのモデル形成事業ドーナツ・プロジェクト

編集:矢内有紗 辻村優子 和田修 (演劇博物館)

撮影:早稲田大学

写真提供:アゴラ企画 椿組 俳優座劇場

発行:早稲田大学坪内記念演劇博物館